

令和7年度「親の力」をまなびあう学習プログラム まとめ

令和8年4月
広島県立生涯学習センター

1 基本方針

広島県教育委員会では、親の教育力の低下やモラルの低下など、家庭の教育力の低下が指摘される中、家庭の教育力の向上を目指すことを目的として、平成20年度から、広島県教育委員会が開発した「親の力」をまなびあう学習プログラム（以下「親プロ」という。）を活用した学習機会の充実に取り組んでいる。平成23年度からは、市町が実施する「親プロ」の支援を行うこととし、教材の改善・開発、ファシリテーターの資質向上に取り組んでいる。

また、平成29年2月に策定された「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを踏まえ、ネウボラ等で活用できる教材の普及を行っている。

2 令和7年度の成果

(1) 親プロ講座の実績

区分	令和6年度				令和7年度			
	合計	市 町 (高等学校以外)		高等学校	合計	市 町 (高等学校以外)		高等学校
		うち 親子コミ※				うち 親子コミ※		
講座数	161	159	28	2	166	163	31	3
実施市町	17	17	2	2	16	16	4	3
受講者数	2,607	2,501	374	106	2,228	2,130	445	98

※親子コミ…親子コミュニケーション応援編

(2) 講座実施に係る主な取組

府中市での親プロファシリテーター養成講座の実施

県と市が連携して養成講座を実施し、5名の方が受講された。近隣市町からも参加者があり、養成講座の実施がない市町にも、新しいファシリテーターが誕生した。養成講座後、新しくファシリテーターになられた方が、親プロ講座を実施。それぞれが所属する市町において活躍することができた。

廿日市市での親プロファシリテーターフォローアップ研修&交流会の実施

県と市が連携して、2年連続開催。5名の方が参加された。演習Ⅰを廿日市市教育委員会生涯学習課職員が担当。アイスブレイクについて参加者一人ひとりが実施し、その他の参加者が体験した。演習Ⅱを、広島県立生涯学習センターセンター職員（親プロファシリテーター）が担当。家庭教育支援新規プログラム「こつな」のプログラム1番「おしゃべりの場「あるある」」を実施した。交流会では、アイスブレイク実施時のコツやアレンジについて多くの意見が出された。また、「おしゃべりの場「あるある」」をどのような場で実施できそうかの検討も行われた。

広島県立世羅高等学校で親プロ講座開催

子育て支援課・広島県立世羅高等学校・世羅町で楽しい子育てを考える会が連携して開催され、生徒及び保護者18名が参加した。広島県立世羅高等学校での開催は、令和元年度以来6年ぶり。子育てについて、それぞれの立場で考える機会となった。

親プロファシリテーターステップアップ研修開催

県が主催し、63名の方が受講された。講義・演習では、社会福祉法人 光彩会 和光園保育所 所長 岡本由姫美氏に御登壇いただき、参加者の心をほぐすアイスブレイクについて講義していただいた。後半の演習・意見交流では、家庭教育支援新規プログラム案「親茶会（仮称）」（後の「おしゃべりの場「あるある」」）を受講者の皆様に体験していただき、よりよいプログラムにしていくための御意見をいただいた。グループに分かれて意見交流をすることで、他市町の親プロファシリテーターの皆様とつながるよい機会となった。

(3) 教材の改善

家庭教育支援 新規プログラム開発検討会議（全2回）実施
「こころをつなぐ家庭教育プログラム」（通称：こつな）
プログラム第一弾：「おしゃべりの場「あるある」」開発。

(4) 養成したファシリテーターへの支援

アウトリーチ型家庭教育支援研修、親プロファシリテーターステップアップ研修
【研修内容】講義、演習、意見交流、情報提供等

(5) ホームページ、メールマガジン等による情報提供

当センターホームページ「ばれっとひろしま」で市町やファシリテーターの取組を支援する情報を提供。
メールマガジンにて、各種研修の案内、報告を発信。

(6) 市町が実施するファシリテーター養成講座及びフォローアップ講座の支援

○養成講座実施市町数：6市町（呉市、府中市、東広島市、廿日市市、府中町、世羅町）

○地域課題対応研修支援：廿日市市（令和7年度「親の力」をまなびあう学習プログラム）ファシリテーターフォローアップ研修&交流会）